

第3回中道北小学校移転 住民説明会 会議録

日	時	平成28年3月15日(火) 午後7時00分～8時30分		
場	所	中道公民館 会議室	当日参加者数	64人
教育委員会	平賀委員長・長谷川教育長・数野教育部長・石川教育総室長・神宮司総務課長・高村学校教育課長・櫻林学事課長・田邊教育施設課長・田村総務課課長補佐・村田総務課課長補佐・土橋総務課係長・山本総務課主任			
地区関係議員等	大木地区自治連会長、池谷甲府市議会議長、鮫田甲府市議会議員			

1 開会

2 委員長あいさつ

3 調査・検討事項の報告について

事務局より、前回意見に基づき次の内容について説明。

(1) 学区の中間点を確認し、その近辺に候補地を検討することについて

現在の児童分布などを基にすると将来的に変動が見込まれるので、学区の東西である白井町と下曾根町の境界の中間を調べ、中央自動車道上が中間点であることを確認した。

(2) 中央自動車道以南での候補地検討について

南側で中間点周辺(児童徒歩5分圏内として300m圏内)に学校用地として必要な土地を確保するためには、集団化した農地を分断しなければならず、県との協議において、農振農用地区域の解除は困難であることを示されている。

南側での検討要望もあり、農振の解除が見込める場所が中間点付近に見出せないか県と再協議したが、適地を見つけることができなかった。

甲府南IC出口付近には農用地区域から外れた土地があることや、市街地化したエリアに面していることから、解除の可能性が高いが、何度も開発が計画された場所であり、周辺に事業所等ができる可能性が高く、学区も西側に偏るため、移転地としては厳しい面がある。

(3) 磁界の影響について

JR東海による環境影響評価書や、環境省が示している情報を総合すると、沿線への磁力影響は非常に低いものであり、車両通過時に限られているため、限定的な影響となり、健康への悪影響はないと考えられる。

(4) 騒音の影響について

環境影響評価書を参考に大まかな試算をすると、学校環境衛生基準である、等価騒音レベル(一定時間の平均値:学校環境衛生基準では5分間の数値による平均で検査することとされている)の、窓を閉めて50dB以下、窓を開けて55dB以下という数値はクリアできることが推測できる。

とはいえ、短時間ではあるが大きな音が発生することが見込まれるため、教育委員会としては、より良好な環境保全のための対応について、リニア、高速道路、国道管理者等、関係各所に防音対策を要望していく。

4 候補地案等についての意見聴取

(1) 白井

近年の温暖化による、ゲリラ豪雨の影響を心配している。

中道北小学校を取り巻く河川は、白井、文殊、中村等に降った雨が注がれる「大堀川」、下区、宮下等を通る「芋沢川」、南側に「間門川」、さらに、水路だが北小の横を流れ、田植えシーズンに笛吹川から取水する「カンセギ」と呼ばれる〔灌漑用のセギ（甲州弁で水路を指す）という意味と思われる〕水路の、4本の川がある。

過去5年の経験から発言させてもらう。

北小の南にある柏排水機場があるが、大堀川が増水した際はそこに流れるが、大堀川はさらに下流にも流れ、中央道の北側（インター出口の北側か中央道南側の言い間違いと思われる）の下曾根側で大堀川、芋沢川、間門川、カンセギの4つの川が合流する。（カンセギは下曾根橋南付近で合流）

以前、降雨時に白井の河川まで水に浸かったときがあった。

なぜこちらまで浸水したのか調べてみたら、白井のGL（グラウンドライン＝地盤面）は下曾根のGLと大差なかった。

河川はすり鉢状の土地に、ほとんど勾配のない中で流れている。

そのため、水は下流に堆積し、本流である笛吹川が増水すると、水は逆流してくる。

それで白井のセギまで水がつく。

濁流なので、カンセギは道路と水路の区別がつかなくなる状況になり、当時の自治会長が連合会長と協議して、道路境界を示す視線誘導標を設置した。

そのような体験から、この4本の川が下曾根で合流することを考えると、笛吹川の氾濫よりも、この一帯に降った雨水があふれたときのGL上げなどの対処が必要と思うが、そのような環境を考えると、下曾根寄りの合流点付近よりも、若干の電磁波や騒音があるとしても、（委員会の候補地案の場所が）いいのではないか。

もう1点、下曾根と白井の真ん中辺りがいいという話の中で、下曾根と綱引きするつもりはないが、意外と白井の集落を知らない人が多い。

白井の橋（白井河原橋）を渡って石和方面に行くと、渋川という川が流れているが、そこまで白井町だ。

アイメッセからこの辺りまで環状線が延長され、石和との境界付近にインターチェンジができるが、そうなれば周辺に住宅ができることが考えられる。

その付近からも北小に通学する児童がいる。

それらを考慮すると、柏排水機場の（隣接の）位置が平等性でも一番いいのではないかと提案する。

(2) 下曾根

前回の説明会でも話したが、今日の説明の中で、磁界や騒音の話があった。

現状、中央道北の案で進めているようだが、北側がリニアで南側が中央道、西側が土手という場所だ。

一番心配しているのは騒音の問題で、先ほどの説明の中では、窓を閉めて50dBが基準と

言っていたが、小学校6年間、学校に行っているときは窓を開けられないのか。

春先や秋になって、少しは外の空気を入れて、気持ちをリフレッシュする経験が、我々にはあった。

皆さんはどうか、6年間窓を閉めっぱなしだ。

空調を使うとか、窓ガラスを2重にすれば騒音の対策にはなるが、やはり窓を開けて勉強をするような環境にしてもらいたいと思っている。

候補地も、中央道よりもっと南に下ってもある。

(3) 下曽根

前日も発言したが、その前にもあの（前回示した候補地案）近辺に立ってみた。

磁界の問題、騒音の問題については数字も出だし、前の発言者の言うとおりでと思うが、もうひとつ環境として、3方を壁に囲まれているような学校の敷地の中で、結構長い時間生活するわけだ。6年間。

教育環境とすれば、決していいとは思わない。

実際に皆さんも想像してみてください。

今も土手が5、6mある。

で、中央道が11m。

中央道の11mはかなりの圧迫感がある。

今度はリニアが30m？

磁場は遠いかもかもしれないけれど、高架になれば、橋脚が何本か見えることになる。

その上にリニアの線があるということで、トータルで30mということだと思うが、どっちにしても、そういう塀で3方囲まれているという部分では、教育環境としては非常に好ましい状況にはないと思う。

皆さん方のお子さんが、そういうところで教育を受けることを想像してみてください。

皆さん方（教育委員会）は行っていると思うが、もういっぺん行ってほしい。

それから、今日初めて見せてもらった中央道の南の話だが、水路の南側ということは考えなかったのか。

そこも、ある程度まとまった農地になっている。

先ほどの発言にあったように、（河川の）合流地点に近くなってしまう点はひとつ心配ではあるが、それはGLを上げればいいことではないか。

単純に高くすればいい、というものではないかもしれないが。

それからもうひとつ、先ほどの説明の中で、農振から除外ができるとかできないとかという話が出たが、この4月から法令が変わる。

2町歩以内であれば県の許可で、国は届出だけでいいという制度が変わる。

今回の面積からいっても、ある程度運用できる部分かあるのではないか。

また、今回はリニアが通るといって国家プロジェクトの中で学校が移転しろということだから、国の事業だ。

その農振除外がどうのこうのとかいうことは、県や市にはもう少しがんばってもらって、もう少し子どもたちの環境のことを考えたときには、繰り返しになるが、3方を壁に囲まれた

ような学校用地というのは、将来非常に禍根を残すと思う。

(先ほどの水路の) 南側も、一度検討してもらえばありがたい。

(参加者より拍手あり)

(4) 上曽根

過去2回の説明会を聞いてきて、「リニアから遠ざけてほしい」ということ(が聞かれた)。

(4-1) 地区別の児童数を教えてほしい。

(4-2) それで、エリアAの児童館前や、エリアBの下(南)の方に移転して、マイクロバスを活用できないか。

あるいは、リニアと中央道の音と圧迫感を避けたら、大きくエリアBの下(南)に移転して、児童館も全部移動して、マイクロバスで白井や文殊から通ってもらうとか、その辺のところを検討してもらえないか。

分かる範囲で教えてほしい。

回答

(児童分布図をプロジェクターで投影)

(4-1) 地区ごとの児童数を示した分布図だが、これを見ると現状ではリニア軌道よりも北側が、若干多い状況になる。

しかし、学校は一度設置されると、30年、40年と続くものなので、現状に影響されて場所を決めるというより、長い目で見ないと、いずれリニアの開通で下曽根の人口が増えるかもしれないし、どのように開発がされるかによって人口は動いていくと思うので、まったく関係しないわけではないが、現状の児童数によって、学校の位置を大きく変えることは考えていない。

(4-2) 1回目の説明会では、「これ以上通学距離が伸びないところ」や「今の学校に近いところ」、「現在の児童館などを活用できる場所」という意見をもらったので、第2回ではいくつか教育委員会でも候補地を探しながら検討したが、教育委員会が考える一番いい場所ということで、前回(候補地案を)示した。

今のところ、その考え方は大きくぶれていないので、もっと南側に移転して、バスで通学をさせたらいいという意見をいただいたが、現状では想定はしていない。

(5) 白井

先ほど意見があったように、騒音がひとつの大きなネックになると思う。

教育環境が、健全な環境ではない状況のところへ、作らざるを得ない。

今、最後に教育委員会の考えとして「想定していない」と言ったが、想定ではないということで一蹴されてしまうと、我々は何も言えなくなってしまう。

意見として吸い上げて、どういうふうにするか、ということについて最善なものを出してもらいたい。

もう一度、騒音のところに帰るが、平均50~55dB以下ということで、確かに平均とい

う数学的な考えで言えば有効な考え方かもしれないが、ポイントになる点というのが、大きな、例えば70とか75とか77(dB)という数字があがっているが、例えば1時間とか、子どもたちが学校にいる時間帯の騒音の平均という考え方が少しおかしいのではないか。

高いところがどの辺にあるのか、それが教育の環境としてどういう影響があるのかということを考えていかなければならない。

実際に、リニアの騒音予測ということで出してもらったが、こんなにあるんだということで、やはりこのところは考えていかなければいけないと思った。

(5-1) 先ほどの考え方の中で、「良好な保全対策に全力を挙げる」という見解を述べていたが、教育委員会の考えている、良好な保全対策とは具体的にどういうことなのか。

小さなことでも、住民がいろいろな立場で(意見を)言っていく中で、農振の問題なんかも、そのところへいってしまうと、もう先へはいけないよということになってしまうので、それについて具体的にどうなんだろうか、ということについて、再度法改正の問題等を含めて、具体的な提示を出してもらえればと思う。

前回提示された場所で、中間地点ということでこの辺りかなと思ったが、やはり自分の中で一番ネックになっている部分というのが、磁力の影響と騒音の影響ということ、3方を中央道、リニア、土手に囲まれた環境というのが、6年間生活する子どもたちにとってどうなんだろうか。

もう一度、原点に立って考えてみたいと思う。

そうすると、中央道の南側というところも、想定として考えていかなければいけないと思う。

回答

騒音については、実際に(この地に)リニアが走っていないので、どのくらい影響があるかについては、予測値で(見る)しかない。

以前、簡易計測器で、現在の学校と前回提示した候補地案の場所や中央道の南側などについて、車の騒音を計測した。

配付資料にも掲載したが、(資料に掲載のない)現在の学校の最大値は55.5dB。

中央道に近くなると数値が上がり、(南側では)国道が上り坂になっているため、その影響があり、今の学校の地より、若干、車の騒音の影響がある。

ずっと窓が開けられないのかという発言もあったが、そこまでは環境は悪化しないと考えている。

また、3方に囲まれたということだが、まだリニアの軌道ができていないので、なかなか想像がつきにくいと思うので、インターネット上の素材を使い、このような形になるのではないかというものを用意した。

(都留市の実験線写真をプロジェクターで投影)

中央道や国道については知っていると思うが、リニアの起動については想像がつかないと思う。

(投影しているのは)軌道から約170m離れて、高さが25mの軌道のもの。

前回、教育委員会案で示した場所から見ることで、このようになると考えられる。

ただし、すぐ北に排水機場があるため、実際には建物に隠れる可能性もある。

(5-1) 良好な環境を保全する対策としては、中央道については防音壁を設置する前は音が響

いていたという話も聞いており、(候補地案の部分にも)ネクスコ(中日本)と協議をして、設置について要望をしていきたい。

(6) 下曽根

(6-1) せっかく画像を用意してもらったが、上に書いてある「(実験線より) 170m」というのはどういうことか。

回答

(6-1) 実験線から170m離れたところから見た風景ということ。

追加質問

(6-2) 今、学校を想定しているところから、リニアの軌道まで何mあるのか。

回答

(6-2) 前回示した(候補地案の)場所で、校舎が建つ(と想定した)場所から170mとなる。

追加質問

校舎から170mあるのか。

こんなに遠くなるのか。

もっと威圧感があると想定するが。

しかし、高架の高さが25mと書いてある。

(6-3) 高架の高さとは、どこのことを言っているのか。

回答

(6-3) 地上からの高さを指している。

追加質問

(6-4) ここでいう「30m」とはどう違うのか。

回答

(6-4) これよりもう少し、5mくらいは高くなるということ。

追加意見

もうひとつ、対策の中でちょっと引っかけたのが、防音壁(防音フード?)を作りたいということを要請するといったが、前の知事がなんとやった。

ドラム管は良くないよ、という発言をして、知事は(防音フードを)やめている。

それは多分、消えていないはず。

市の教育委員会は、どのくらい力があるのか分からないが、そこを軽々に言うと、ちょっと

現実と違わないか。

確認

今の件は、意見ということによろしいか。

追加意見

結構。参考にしてほしい。

(7) 不明

教室の窓から見た風景とは、高さが違うと思うが。

(7-1) これは、地面から見た高さではないか。

回答

(7-1) そのとおり。

追加質問

(7-2) 学校は今、何階あるのか。

回答

(7-2) 3階ある。

追加質問

3階の高さから、どのように見えるのか。

(8) 下曽根

この写真は（軌道が）かなり斜めになっている。

この（資料の）地図で（軌道を）見ると真横だ。

かなりイメージが違う。

(9) 不明

(9-1) 教室の3階の高さはどのくらいか。

(10) 下曽根

ごまかしと言ったらちょっと失礼だが、ちょっと違和感がある。

回答

(9-1) 3階の床で、8 m程度ある。

(11) 不明

では、見え方が違ってくると思う。

(12) 上曾根

先ほどフードの話が出た。

自宅は、軌道から130 mくらいのところだ。

もっとすぐそばを通る人たちもいる。

沿線住民は、騒音のことがいちばん心配だ。

皆さん、そのことだけは、学校がどうこうのだけでなく、近くに住んでいる人たちのことも考えて発言してほしい。

それから、これは私の想像かもしれないが、中央道の北側であれば、環境的には固定されないか。

(12-1) 南側になった場合、校舎が建った後のその南側は、開発される可能性がないのか。

その場合、学校の周りの環境というのは、どのように変わることが想定されるか。

回答

(12-1) 南側にした場合は、今はすべて農地だが、どのように開発されるかによって、ご指摘のとおり（環境が）変わってくると思う。

今の時点でどう考えているかという質問については、どのような企業が入ってきて、どのように開発されるかはこれからのことなので、どのように変わるかは分からない。

反対に、学校があることによってある一定の業種は進出できないといったことで、開発のひとつの抑止になる部分もあるが、開発によって（学校としての）環境が悪くなることも考えられる。

教育部長説明

いろいろなご意見、ご指摘に感謝する。

教育委員会でも、いろいろな視点からこれまで検討してきた。

また、第1回、第2回の説明会の中で寄せられたご質問に対しどういう結果が出るかを、真摯に、数値なども探ってみたところだ。

今日いただいた意見、例えばゲリラ豪雨の心配などについては、前回にも説明したが、現在のハザードマップで、学区の平坦な部分は高低差が少ないこともあり、だいたい5 mくらいの浸水想定がされている。

それが、千年に一回の可能性を追究していくと8 mくらいの冠水の想定も必要になるかもしれないことが分かってきた。

そうすると、どこに学校を置いても、浸水のことを考えなければならない。

その中で、例えば地盤を少しでも上げる、校舎を高層にするといった対処方法があるということをお返している。

また、騒音は、最初の説明会で、窓を閉める（対処）等も説明したが、リニアの騒音については、教育委員会としてよりよい教育環境を考えれば、JRに対しても、きちんと意見として、フードの設置も強く要望していかなければいけないと考えている。

高速道路と国道があるが、国道については資料で分かるとおおり、中央道の南側のほうが高い数値を表している。

現地に行ってみるとわかるが、国道は坂になっており、（自動車は）エンジンをふかすため、結構うるさい。

中央道の北側に行くと平坦になるため、数値が小さい、という状況を把握している。

つまり、より現在地に近いほうが、土手を通る国道の騒音が小さくなる。

中央道については、専門の見地から話を聞いていたが、植栽や防音壁によってかなり抑えることができるという話を聞いていた。

中央道からの騒音が心配されるということであれば、防音壁の設置を強く働きかけていくといったことも、委員会では想定している。

3方を壁に囲まれた環境ということで、お見せした（実験線の）写真が、地面から眺めたものということだが、見る位置が高くなればなるほど、遠方への景色が開けると考える。

実際に、現在の北小学校に行き、2階以上から眺めてみると土手があっても山は見えなくなることも確認した。

中央道に近い場所に行けば土手に遮られる部分が多くなるが、校舎の使い方によっては、開けてくる部分があると考えている。

いずれにしても教育委員会の立場としては、この学区の中で適当な場所を、皆様のご意見を十分に聞く中で、選定をしていかなければいけない。

その中で、最高の場所というのはなかなか得られないので、次善策として問題があったらどうやって解決するか、それを住民の皆さんと真摯に向かい合って、話し合いながら進めていければと思っている。

(13) 下曽根

先ほど発言し忘れたが、あそこ（中央道北側）で何回か眺めてみたが、たぶんリニアが通ってしまうと、八ヶ岳はほとんど見えなくなってしまうと思う。

土手の段階で、運動場からは南アルプスのてっぺんの、間ノ岳あたりがちらりと見えるだけになってしまうんじゃないかな、という感じがする。

せっかくあそこにある、八ヶ岳、茅ヶ岳、甲斐駒（ヶ岳）、それから南アルプス、あれがほとんど見えないんじゃないかという感じが、懸念としてある。

そういう点、中央道の南であれば、自分も何回か眺めてみて、南アルプスはかなり見える。八ヶ岳はリニアの軌道で厳しいかもしれない。

せっかく山梨県人でいて、山が見えないところで（教育を行う）というところが、もうひとつ気になる点だ。

ぜひ配慮してもらいたい。

(14) 不明

この写真だと、イメージがわきづらい。

(14-1) 教育委員会で示した候補地（案）から、リニアがこう通る、中央道がこう見えるという写真を見せてもらいたい。

CGが難しいと思うが、もっと分かりやすい形で示してもらえたらいいと思う。

回答

(14-1) 教育委員会で持っている機材でそういうことができるか、この場では判断できないが、できるだけ要望に沿えるように検討する。

(15) 白井

前回は要望として出したが、教育委員会が3回にわたって細かな資料をつくり、説明会を実施するというのに、敬意を表する。

住民としても、たいへんありがたいと思うが、一点、子どもを学校に送り出している保護者の方々の現実的な意見という部分も、教育委員会は吸収をしながらやってほしい。

今後のスケジュールはと質問したところ、候補地が決定したあと3～4年だということを知ったので、候補地が決定するのも間もなくではないか。

そのスケジュールから、校舎建設というところに入るのも、意外と早いのではないかなと想定しているので、

(15-1) 今現在、子どもが北小に通っている保護者の方々等の、例えば通学路の問題だとか、距離の問題だとか、環境の問題だとかに関わるご意見というのも。

今日の住民説明会に来てもらえればいいが、実際に家庭があって、家事をしてということで、時間的には出づらいのではないかなと思うので、ぜひそういう機会を持てるような取組をお願いし、そこで本当の生の声を吸い上げて、教育委員会としての考え方を出示してもらいたい。

回答

(15-1) 学校側とも相談しながら、そのような機会が設けられるか検討したい。

(16) 上曾根

学校の移転問題については、今の（教育委員会の）案は説得力があるかと思う。

ただ、今日は教育委員会の職員だけだが、学校移転に伴って環境の問題がいろいろ出てくるはずだ。

その辺のことを、どう地域住民と話し合ってくれるのか。

今日は幸いに、市議会議員や連合会長が来ているので、教育委員会を超えた立場で、今後、

この問題にどう取り組んでいくのか、地域住民に、もう少し親切な説明をしてもらいたい。

甲府市議会議長

リニア問題に対し、現在の前の代の、白井、上曾根の自治会長たちに、沿線協議会の立ち上げを提案し、立ち上がった。

それから2年たち、(大きく)動いていないが、白井、上曾根、下曾根の自治会長たちが動いてもらえれば、ここ(にいるの)は教育委員会(の職員)だし、地域全体の環境問題などもあるので、(今の環境の問題は)沿線の皆さん全員で(検討するという)そういう形をとったらどうか。

私もやらなければならないが、これから自治会長がたいへんだが、旧柏の皆さんで、そういうことを真剣にやってもらえたら、ありがたいと思う。

私たち議員も、応援できることはさせてもらうので、皆さんと一緒に考え、本当に良かったなという(方向に)していきたい。

まとめ

ご意見も、だいたい出尽くしたようなので、これらを参考にして、教育委員会では、場所の決定という方向に持っていきたい。

ご意見については、第1回の意見に対し第2回で答え、第2回に対し今回で答えており、今回の意見に対しても十分に反映していきながら、場所の設定をしていきたい。

地区自治連会長まとめ

聞いていて、子どもを思う気持ちが伝わった。

理想の場所というものは、なかなか無く、見ていると、委員会の候補地案がいいのかなとは思いますが、その案にも欠点があるということで、どうしたらいいだろうかなというところだ。

騒音の問題だが、前の知事の時にはフードを外してほしいというのが要望で、J R 東海は設置したい(意向だった)。

この問題は景観的や観光的な問題があったが、何とか解決できるのかなと思う。

先ほど、音の問題の中で、3方に囲まれている場所にあるということだが、今の時代、米倉山の上にももっていかないと、音の問題は解決できないんじゃないかと思う。

でも、みんなで知恵を出して考えればいいのかなと思う。

今日、教育委員会が中心になって(開催して)いるのは、北小の移転の問題で、沿線協議会は、地権者等のリニアが通ることに対する問題があったら陳情しようということだ。

移転の日はいつごろを想定しているか。

同じ形の説明会をいつまでもやっていくのか、(見通しを)言ってほしい。

そうすれば皆で、できるだけ速やかに見つけて、中央道の南側をもう1回、4月から(農地に関する)法律の改正もあるようだから、そういうことも含めて(再検討してほしい)。

(今日の)話を聞いていると、(中央道の)南側(の意見が)多いようだから。

騒音の問題も、向こう側へ行けばよくなるのか。

上曾根に近い方がいいとか、下曾根に近い方がいいとかということは、誰も言っていない。皆、公平な立場の中で意見を出してくれているので、ありがたいと思っている。農振解除問題で県が言っている点を、もう一度検討してはどうか。

(参加者より拍手あり)

フードの件については、我々が一所懸命(設置に向けて)何とかがんばっていきたいと思っている。

事務局

学校の移転に対し最も注意するのは、学区が東西に長いため、通学時間に極端な偏りができないところに移転しなければならないことと考えている。

いつまでも(このような説明会を)やっても、平行線をたどるような結果になってしまうと思っている。

時間的にもリニア整備は迫っているので、5月くらいまでには候補地を絞り込みたいと考えている。

地区自治連会長

その(5月までの)間は、説明会は開かないのか。

事務局

現時点では具体的日程を考えていない。

今出されている意見、写真の件であるとか、中央道南部の再検討については、県との協議も経なければならないので、いつとはまだ言えない。

先ほども言ったとおり、5月くらいを目途に(移転地を)決めていきたい。

5 その他

5月までに開催できるようであれば、なるべく開催したいと考えている。

本日のご意見も、きちんと確認する必要がある。

検討結果の報告もしていきたい。

農振の手続きのスケジュールもあり、来年度の早いうちに決めていかなければならない。

どういった会を開催するかについては、検討させてもらいたい。

6 閉会